

## 第6学年 国語科学習指導案

児童 6年2組男子18名女子11名計29名  
指導者 小森英明

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 「平和のとりでを築く」(説明文)

### 2 児童と単元について

#### (1) 児童について

児童は、1学期の説明文教材「生き物はつながりの中に」の学習において、「文章を読んで自分の考えをもつ」学習を行っている。その際、学習のまとめとして筆者の主張に対する意見文を書く活動を行った。筆者が述べている「生き物」としての特徴やすばらしさに対して、自分にもそれらの生き物の特徴があてはまるか意識して意見文を書かせることをねらったが、叙述をなぞったかたちでの意見文が多くなってしまいう結果となり、ねらうような形の意見文にはならなかった。

単元後に行った事後テストの結果や1学期に行ったNRTの結果をみると、「要点や要旨を理解する」や「文章の構成の理解」ということについてはある程度定着してきているが、「自分の考えをもつ」ということにまだ十分な力がついておらず、考えをもたせるためには具体的な手立てが必要であると考えられる。

本学級の児童は経験不足や知識不足から、なかなか考えを深めることができない様子が、これまでの説明文の学習などでも見受けられたので、グループやペアによる話し合いを学習活動の中に適宜取り入れ、児童一人一人に考えをもたせる手立てをとっていきたい。

#### (2) 単元及び教材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、筆者の考え(要旨)をとらえ、平和や戦争について自分の考えをもち、その考えを伝えることをねらいとしている。

教材文「平和のとりでを築く」は、おそろしい原爆の被害を象徴する原爆ドームの、建造から世界遺産として指定されるまでの流れを紹介することを通して、「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」という主張を読者に投げかけている。

全文は13段落で構成されており、大きくは、「原爆ドームに対する筆者(わたし)の思い」「原爆ドームがたどった歴史」「世界遺産への道のり」「まとめ」という4つのまとまりからなっている。冒頭の段落で「わたし」という語り手として、原爆ドームへの思いを語った後、原爆ドームのたどってきた歴史を時間の流れに沿って説明する。そして再び「わたし」の立場から原爆ドームが世界遺産であることの意義について語り、まとめるという構成の工夫がみられる。また原爆ドームの叙述が「建造物」「世界遺産」「記念碑」「世界の遺産」などと変化していき、読者に原爆ドームの存在価値を、読み進めるにしたがって認識させるような工夫もとられている。それらの工夫は筆者の立場を明確にし、原爆ドームが「世界の遺産」であることを読者に強く訴えかけてくる。

筆者の主張が明確に述べられているので、「平和」「戦争」という今日的な重要な問題に対して、児童が、自分の考えをもつことのできる価値ある教材と考える。これまでの説明文の学習で身につけてきた力を生かしながら、筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをもたせる学習を行っていきたい。

#### (3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法

##### 【筆者の主張を読み取る力】

事実の段落と意見の段落を区別し、文章構成を考える。

- ・主語
- ・文末表現

筆者の主張を読み取るためには、それがどの部分に書かれているのかということをつかまなければ

ならない。そこで、まず文章の構成を考えさせる。その場合、段落毎に事実を述べているのか、筆者の意見を述べているのかを、主語や文末表現、述べている内容などから判断させる。さらに、筆者の意見を述べている段落が、はじめとおわりにあることから、はじめ・中・おわりの大まかな文章構成をとらえさせる。文章構成に着目して考えれば、筆者の主張がとらえやすくなることを確認したい。

筆者の意図に沿って要約し、その意味を考える。(要旨的要約)

・文末表現による主張の確認      ・叙述の変化      ・題名

今回行う要約は、要旨を捉え、筆者の考えを要約する「要旨的要約」とする。そこで、要約の際には、主張の段落のみを取り上げる。段落の中の主張を捉える際には、「である」「なのだ」という文末表現に着目させ、筆者の一番伝えたいことを述べている文をとらえさせる。その上で、段落と段落の中心文の関わりに気を付けさせながら要約文を考えさせる。

さらに、筆者の思いが、原爆ドームに対する叙述の変化や、原爆ドームの保存を願う人々の広がりといった述べ方の工夫、ユネスコ憲章の引用、題名と最終段落の文の呼応といったことにも表れていることに気づかせ、その思いの高まりを読み取らせたい。

そして、筆者の伝えたいことが「平和のとりでを築く」という題名に表されていることから、その言葉の意味について話し合うことを通して筆者の思いを読み取らせたい。

### 【筆者の主張に関連させて自分の考えをもつ力】

筆者が考えを説明するために挙げていることを詳しく読み取り、それに対する自分の考えをまとめる。

筆者は、伝えたいことを説明するために、中の部分で原爆ドームがたどった歴史と世界遺産になるまでの道のりについて述べている。それぞれについて詳しく読み取る活動を取り入れ、自分が感じたことや考えたことを書きまとめる。そうすることで、自分の意見の蓄積ができ、まとめの意見文を書く場合に生かすことができると考える。

また、友達と考えを交流し合う活動を取り入れる。これは、説明文の前単元の学習で、書かれていることを自分のこととしてとらえることが難しく、意見も浅いままの児童が見られたためである。友達との交流を行うことで、経験や知識の乏しい児童にも意見をもつためのより多くの材料をもたせたいと考える。

さらに、平和や戦争、原爆、世界遺産等の本教材文に関わる本との並行読書を行うことで、自分の考えを深めたり、高めたりすることの一助としたい。

これらの活動を行うことで、自分の考えも深まり、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる活動につながると考える。

## 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	教材文を通して、平和について考えを深めようとする。	・教材文を読んで、筆者の主張に対する自分の考えを深めようとしている。
読む能力	文章の構成や表現から要旨をとらえることができる。読むことイ 筆者の主張について自分の考えをもつことができる。 読むことエ	・文章の構成や表現から、要旨をとらえている。 ・筆者の主張をとらえ、自分の考えをまとめている。
言語についての 知識・理解・技能	段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解することができる。 言語事項オ(ア)	・段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解している。

4 単元の指導計画と評価規準

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解
見 通 す	1	単元名、リード文から単元全体の学習のめあてをとらえ、筆者の意見に対して自分の考えを意見文としてまとめることを知る。		単元のねらいについて理解し、単元の見通しをとらえている。 (発言・ノート)	
	2	全文を通読し、大体的内容をつかみ、初発の感想を書く。 難意語を調べる。	教材文を進んで読み、感想を書こうとしている。 (ノート)		
	3	読みの方法を検討し、学習の計画をつかむ。	今までの学習を振り返り、今後の学習の仕方に生かせそうな方法を考えようとしている。(発言)		
深 め る	4	各段落が、意見・事実が書かれているかを考え、大まかな構成をつかむ。		事実の段落か意見の段落かを考えて、文章構成をつかんでいる。 (発言・ノート)	段落の役割を理解して、文章構成を考えている。 (発言・ノート)
	5	人々の原爆ドームに対する思いを読み取り、自分の考えをまとめる。	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えをもとうとしている。(発言・ノート)	原爆ドームの保存に対する人々の思いを読み取り、永久保存されることに対して自分の考えをもっている。 (発言・ノート)	
	6	原爆ドームの世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、自分の考えをまとめる。		原爆ドームの世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、選ばれたことに対して自分の考えをもっている。 (発言・ノート)	
	7	筆者の主張をとらえ要約する。	筆者の主張をふまえながら、要約文を書こうとしている。 (ノート)	文末表現や叙述の変化から筆者の主張をとらえ、要約文を書いている。 (ノート)	

	8	題名に込められた筆者の思いを読み取る。		題名に込められた、筆者の思いを読み取っている。 (発言・ノート)	
ま と め る	9	筆者の主張に対する意見文を書く。	筆者の主張に対する自分の考えをもち、書き表そうとしている。(ノート)	筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 (ノート)	

## 5 本時の指導 ( 5 / 9 )

### ( 1 ) 本時の目標

原爆ドームの保存に対する人々の思いについて読み取り、原爆ドームが永久保存されることになったことに対し、自分の考えをもつことができる。

### ( 2 ) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
国語への関心・意欲・態度	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えを深めようとしている。	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えをもとうとしている。	板書や友達の意見を参考にし、考えをもつように働きかける。
読む能力	原爆ドームの保存に対する人々の思いを読み取り、永久保存されることに対して、より深い考えをもっている。  例) 市民が原爆ドームの保存を決意したことはすばらしいことだと思います。被爆が原因でなくなった少女が語った言葉に市民が共感し、少女の死をむだにしたいくないという思いがあったからなのだろうと思います。15年という時間があらずように、ドームを保存することに対して、原爆のことを思い出したくない、保存は簡単でないなどと、市民はいろいろ悩んだと思います。でもそのような中で、保存することこそが、自分たちと自分たちの未来にとっても大切なことであると考えたことは、すごいことだと思います。	原爆ドームの保存に対する人々の思いを読み取り、永久保存されることに対して考えをもっている。  例) 原爆ドームが、原爆のもたらしたむごたらしいありさまを思い出しますので、取りこわしてほしいという考えはよく分かります。そういう中で被爆が原因でなくなった少女の日記がきっかけとなって保存に向かったことは、すばらしいことだと思います。	板書やグループでの話し合いの内容をヒントに考えるよう支援する。

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・期待する児童の反応	教師の関わり方 ・留意事項 評価
見 通 す       7 分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 原爆ドームがたどった歴史について、おおまかに確かめる。</p> <p>3 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>15年間の市民の心の動きを読み取ろう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時まで文章構成をとらえたことを振り返り、本時の学習はその中のどの部分にあたるかを確かめ、学習への意識化を図る。</li> <li>・原爆ドームの完成から、原子爆弾の投下を経て、永久保存が決定されるまでの道のりについて、おおまかに確かめる。</li> <li>・原子爆弾の投下から、永久保存が決定されるまで15年の歳月が経過していることに気づかせ、学習への意欲付けを図る。</li> </ul>
深 め る       33 分	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 内容を読み取る。</p> <p>(1) なぜ永久保存が決定されるまで、15年という時間がかかったか考える。 なぜ保存が決定するまで、15年という時間がかかったか、考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この建物は多くの市民に親しまれていた。</li> <li>・原爆ドームをみていると、原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出すので、一刻も早く取りこわしてほしい。</li> <li>・保存といっても、傷ついた建物だけに簡単ではない。</li> </ul> <p>(2) 永久保存のきっかけとなった少女の日記の価値について話し合う。 なぜ少女の日記がきっかけとなって、保存が決定されたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆の被害を後世に伝えるべきと考えた。</li> <li>・被爆が原因とみられる病のおそろしさを、伝えていきたいと考えた。</li> <li>・少女の死をむだにはいけないという思いから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ~ 段落を音読させる。(指名読み)</li> <li>・ ヒントになりそうな叙述にサイドラインを引かせる。</li> <li>・ ドーム保存に関わって様々な立場の市民がいたであろうことを叙述に即して読み、話し合わせる。</li> <li>・ ドームの保存が容易でないことや市民に親しまれていた建造物だからこそ、保存に反対の立場があったことは、児童が読み取るには難しいことだと考えられるので、補助的な発問や指示をし、段落の内容にも目をつけさせていきたい。</li> <li>・ 少女の日記(少女)の何が市民の心を動かしただか話し合い、様々な苦労が考えられ、様々な立場の市民がいる中で、それでも保存が決定された意義に気づかせたい。</li> <li>・ 話し合いが停滞した場合、ペアで話し合わせる。</li> </ul>

	<p>6 自分の考えをまとめる。 原爆ドームが保存されることになったことに対する考えをノートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに意見交流を図り、一人一人に考えをもたせるよう配慮する。その際、グループで一つの結論を出すための話し合いでなく、考えを深めるための話し合いであることを確かめる。</li> <li>・グループごとに話し合われた内容を生かして、ノートに自分の考えをまとめるよう指示する。</li> <li>・机間指導を行い、作業が停滞している児童の支援を行う。</li> <li>・数名に発表させ、考えの交流を図る。</li> </ul> <p>原爆ドームがたどった歴史に興味を持ち、自分の考えをもとうとしている。 (発言・ノート) 原爆ドームが保存されることになったことに対して、自分の考えをまとめている。 (発言・ノート)</p>
<p>まとめ る 5 分</p>	<p>7 まとめ音読をする。</p> <p>8 本時の学習について振り返る。</p> <p>9 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ったことを振り返りながら、～段落を音読する。(指名読み)</li> <li>・次時は、原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの流れについて読み取り、その意義について考えをもつ学習をすることを確認する。</li> </ul>

(4) 板書計画

<p>自分の考え・感想</p>	<p>平和のとりでを築く</p> <p>一九一五 物産陳列館として、完成 一九四五 広島に原子爆弾投下 一九六〇 原爆ドーム保存へ</p> <p>十五年間の市民の心の動きを読み取る</p> <p>市民の思いの中には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存反対</li> <li>・一刻も早く取りこわしてほしい</li> <li>・むごたらしいありさまを思い出す 市民に親しまれていた建物</li> <li>・保存の苦勞 傷ついた建物</li> </ul> <p>戦後(経済的な苦勞) 保存に反対、保存への迷い</p> <p>少女の日記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存によって原爆の被害を後世に伝えるべき</li> <li>・被爆が原因とみられる病のおそろしさを伝えて行きたい。</li> <li>・少女の死をむだにはしてはいけない</li> </ul> <p>永久保存へ</p>
-----------------	---